

わか数学科(第31回-2)

旭農業高等学校の巻

1 学校紹介

本校は明治43年千葉県海上郡立農学校として開校し、平成22年には創立100周年を迎える、伝統ある農業高校です。卒業生は一万五千人を超え、東総地域を中心に活躍しています。県内に昔からある農業高校が再編計画等により次々と「農業」の名を外すなか、第3期の実施プログラムでも生き残り、県内で唯一の「農業高校」として期待されています。

2 学科紹介

4学科あり、すべて1学級です。

畜産科 県内でこの科を持つのは本校だけ。酪農、養豚、養鶏の3専攻があります。近隣の保育園、小学校、特別支援学校の子どもたちがしばしば見学に訪れます。この春は豚の出産ラッシュで、子豚たちが母豚のおっぱいを飲む様子が子どもたちの人気を集めていました。

生産技術科 野菜、造園、果樹、草花の4専攻があります。旭市立中央小学校との連携事業で、本校水田での田植えと稲刈り、また小学校でのさつまいもの植え付けと収穫等を行っています。

食品流通科 食品の生産、加工、流通に関する科目、および情報・商業に関する科目を学習し、資格取得を目指しています。生徒たちが作るパンとジャムは大変人気があり、旭農祭(きよくのうさい)では長蛇の列となります。

生活科学科 調理、園芸デザインを中心に学習します。今年は2年生がプロジェクト学習として「食育」をとりあげ、近くの幼稚園に何度も出向いて園児たちの苦手とする野菜を調査し、種播きから育成・収穫・調理・試食まで共に行いました。この取り組みはNHKや新聞各紙でも報じられました。

3 教育課程

	1年	2年	3年
数学I	3		
数学II		(2)	(2)
数学A		3	
数学基礎			(2)

- * 1年生は2クラスを3つに分け少人数授業を行っています。
- * 数学IIは他教科との選択。2・3年と続けて履修しなければなりません。
- * 3年次の数学基礎は他教科との選択。興味のある内容についてレポートを書きます。
- * 全学科共通の教育課程です。

4 本校生徒と数学

小・中より数学を苦手としている生徒がほとんどです。入学時に実施した計算力テストの平均点は31.5点。最低点は2点でした。正負の整数の四則ができない生徒も多くみられます。

算数の力がないため、理科や家庭科、農業科においても担当者は苦勞しています。そこで総合的な学習の時間を使って月に一度「算数力を高める！」として全校で取り組みを始めました。整数の割り算、小数・分数の四則演算、割合というごくごく基本的な内容ですが、教材は数学科の職員が用意し、直接の指導は学級担任の先生にお願いしています。

5 数学科職員紹介

往古 穂(おおこみのる)

旧姓多田。本校5年目。定年退職まで八ヶ月を残すのみとなった今年8月、長年連れ添った奥様(美人です!)の実家を継ぐことになり、改姓。趣味は写真で、校内行事や町のイベントには必ずカメラを抱えています。観光協会主催の写真展等での入賞経験も多数あり、写真部の生徒に熱く写真道を語っています。

塩野谷 正之(しおのやまさゆき)

本校2年目。松尾高校を最後に退職した後、再任用(20時間)として本校で教えてくださっています。いつもにこにこの「癒し系」で数学科研究室にはなくてはならない存在。お国なまりでの熱心な指導から「しおじい」「栃木の先生」と生徒に呼ばれ、愛されています。趣味は毎日の散歩とサイクリング、釣り、読書。

大門 弥生(おおかどやよい)

本校2年目。旭和会(きよくわかい)顧問。コワイ組織ではなく、生徒会の名前です。昨年は旭農祭の盛り上げに奮闘し、例年の2倍近い来校者がありました。今年はマスコットとして、豚のキャラクターを制定し、旭農祭の宣伝に使うだけでなく、生徒が販売する農産物にまで付けてしまおうと企んでいる様子。



左から 塩野谷 往古 大門